

デジタルワークカードA

このデジタルワークカードは、Appleworks6 で作成しています。このソフトウェアを使用した最大の理由は、児童用のコンピュータにこのソフトウェアがインストールされていることですが、それ以外に、このソフトウェアがワープロ機能やペイント機能など複数の機能を合わせた統合型のソフトウェアだからです。そして、このワークカードには、その統合型のソフトウェアのワープロ機能とペイント機能を併用して作成してあります。

具体的には、各質問内容に対して、キーボードによる文字入力ができる子供たちはワープロ機能を活用して入力ができ、文字入力が苦手な子供たちは、ペイント機能のペンツールを活用してマウスやペンタブレット等による手書き入力ができるようになっていきます。

これは、子供たちの中には、キーボードによる文字入力が苦手な子供たちが少なくないという実情を考慮したものです。

こうした「手書き」と「キーボード」による複合入力型のワークカードは、一般的なコンピュータ環境においては決して利用しやすいものではありませんが、タッチスクリーンタイプのコンピュータ環境で活用することができれば、より子供たちにとって扱いやすいものになると考えています。

デジタルワークカードB

このデジタルワークカードは、ファイルメーカーPROで作成しています。まだ研究を始めたばかりで、ソフトウェアに附属していたサンプルの一部を改良しただけのプロトタイプといった状態です。

このワークカードの最大の特徴（というかまだ試みの段階ですが）は、ネットワーク対応型と言うところにあります。具体的には、ファイルメーカーPRO（ウインドウズ、マック両方のバージョンがありますが基本的な機能は同じです）の、WEBコンパニオンという、拡張機能を活用して、このワークシート（実際にはサーバーコンピュータ内にあるのですが）を、同じネットワークに接続しているクライアントPC（児童用のコンピュータ）から閲覧したり入力したりできるようにしてあります。

サーバーコンピュータには、ファイルメーカープロが導入されていなければなりません。クライアントPC（児童用PC）は、このソフトウェアもワークカードも必要ありません。

クライアントPCに必要なのは、インターネットブラウザソフトウェア（Nescape や InternetExplorer など）だけです。

具体的には、児童はインターネットブラウザソフトを起動して、サーバーのアドレスにアクセスすると、ブラウザ上にワークカードが現れます。

子供たちはそのブラウザ上で、自分の学年・組・出席番号と名前を入力した後、ワークカードの必要事項を記入して、最後に送信ボタンを押せば入力は完了します。

入力されたワークカードは、すべてサーバーにデータベースとして自動的に蓄積されていきます。蓄積されたワークカードは、それぞれの項目ごとにリストアップすることもできれば、児童ごとにリストアップすることもできます。

残念ながら、今回の利用では、ネットワークのトラブルが発生したために、十分に活用できないままに終わってしまいました。使用した感じではネットワークにかなりの負担をかけるようです。もう少し改善が必要です。



図工ワークカード

月 日 () 名前

1 きょうまでにできた作品

2 きょうの学習のめあてはなんでしたか

3 きょうの学習を振り返って感じたことはなんですか。

4 こんどの学習でやろうと思うことはなんですか。

>>先生から>>

図工ワークカード

12月 13日 (金) 名前

1 きょうまでにできた作品

2 きょうの学習のめあてはなんでしたか

色々な書き方を覚えたり、パラパラアニメのストーリーをできるだけおもしろくする。
それに、だれが見てもストーリーが分かるようにしたい。

3 きょうの学習を振り返って感じたことはなんですか。

私は、ちゃんと写真がとれていなかったから、作業はなかなかできなかったけど、人のてつ
だいなどをして、色々と分かってよかった。

4 こんどの学習でやろうと思うことはなんですか。

人のてつだいもするし、自分がうまくできていたらどうなっているかをかんがえる。

>>先生から>>

図工ワークカード

12月 13日 (金) 名前磯辺将吾

1 きょうまでにできた作品

2 きょうの学習のめあてはなんでしたか

かき方を覚える。

3 きょうの学習を振り返って感じたことはなんですか。

けっこう絵を書くのはおもしろい
うん。

4 こんどの学習でやろうと思うことはなんですか。

最後までかくこと。

>>先生から>>

図工ワークカード

登録No: 日付: 時刻:

必ず入力してください

氏名

個人ID

Q1「今日の学習のめあてはなんでしたか」

いろいろなことができてたのしかったです。

Q2「今日の学習を振り返って感じたことはなんですか」

友達と活動ができたことです。

Q3「こんどやりたいことはどんなことですか」

もっといろいろな工夫してみたいです。

表示

1

レコード数:

8

ソート済み